受験番号

令和3年度

精道三川台高等学校 第1回入学試験問題

数学

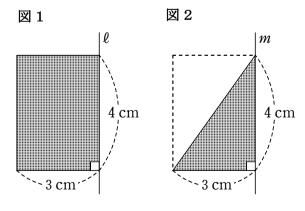
注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は中にはさんであります。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、受験番号を問題冊子および 解答用紙の受験番号欄に記入しなさい。
- 4 問題は $1\sim5$ で、1ページから5ページまであります。
- 5 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。 答えは最も簡単な形にしなさい。なお、計算の結果に√またはπを ふくむときは、近似値に直さないでそのまま答えなさい。
- 6 「やめ」の合図で、鉛筆を置きなさい。
- 7 試験終了後は、問題冊子および解答用紙を机の上に置いたまま退出しなさい。

1 次の(1)~(9)に答えなさい。

(1)
$$4+8\div\left(-\frac{1}{4}\right)$$
 を計算しなさい。

- (2) x=2, y=-3 のとき次の式の値を計算しなさい。 $x^2y \times xy^2 \div (-2xy)$
- (3) $(a+2)^2-2a(a+4)$ を計算しなさい。
- (4) 次の式を因数分解しなさい。 $2x^2+4x-16$
- (5) $3\sqrt{12} \frac{6}{\sqrt{3}} + \sqrt{48}$ を計算しなさい。
- (6) 連立方程式 $\begin{cases} x-3y=8 \\ 5x+9y=16 \end{cases}$ を解きなさい。
- (7) 2次方程式(x+4)(x+3)=3(x+4)を解きなさい。
- (8) 変化の割合が-3である1次関数において,xの値が4増加するときのyの増加量を求めなさい。
- (9) **図1**の長方形を,直線ℓを軸として1回転させてできる立体の体積は**図2** の直角三角形を,直線 *m* を軸として1回転させてできる立体の体積の何倍か求めなさい。

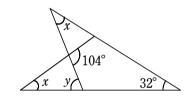


- [2] 次の間1と問2に答えなさい。
 - **間1** 右の表は、クラスの生徒30人の通学時間 を度数分布表に整理したものである。
 - (1) アにあてはまる数を求めなさい。
 - (2) 最頻値 (モード) を求めなさい。
 - (3) 中央値 (メジアン) を求めなさい。
 - (4) 平均値を求めなさい。

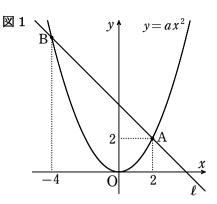
通学時間(分)	度数(人)	
以上未満		
$0\sim 10$	4	
$10\sim20$	10	
$20 \sim 30$	ア	
$30 \sim 40$	5	
$40\sim 50$	2	
合計	30	

間2 次の(1)と(2)に答えなさい。

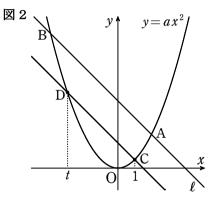
- (1) 1つの外角の大きさが72°である正多角形の内角の和を求めなさい。
- (2) 右の図の $\angle x$, $\angle y$ の大きさを求めなさい。



③ 図1,図2のように、放物線 $y=ax^2$ と 直線 ℓ が点A(2,2)とx座標が-4である点Bの2点で交わっている。また、図2のように、 放物線 $y=ax^2$ 上にx座標が1である点Cとx座標がtであるCと異なる点Dをとると、直線 ℓ と 直線CDが平行となった。 このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) aの値を求めなさい。
- (2) ℓの方程式を求めなさい。
- (3) 関数 $y=ax^2$ において、xの値が tから1 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。
- (4) tの値を求めなさい。
- (5) △ACDの面積を求めなさい。

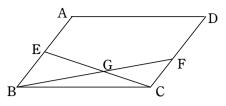


- [4] 次の 問1 と問2 に答えなさい。
 - 間1 次のxの2次方程式について、次の問いに答えなさい。

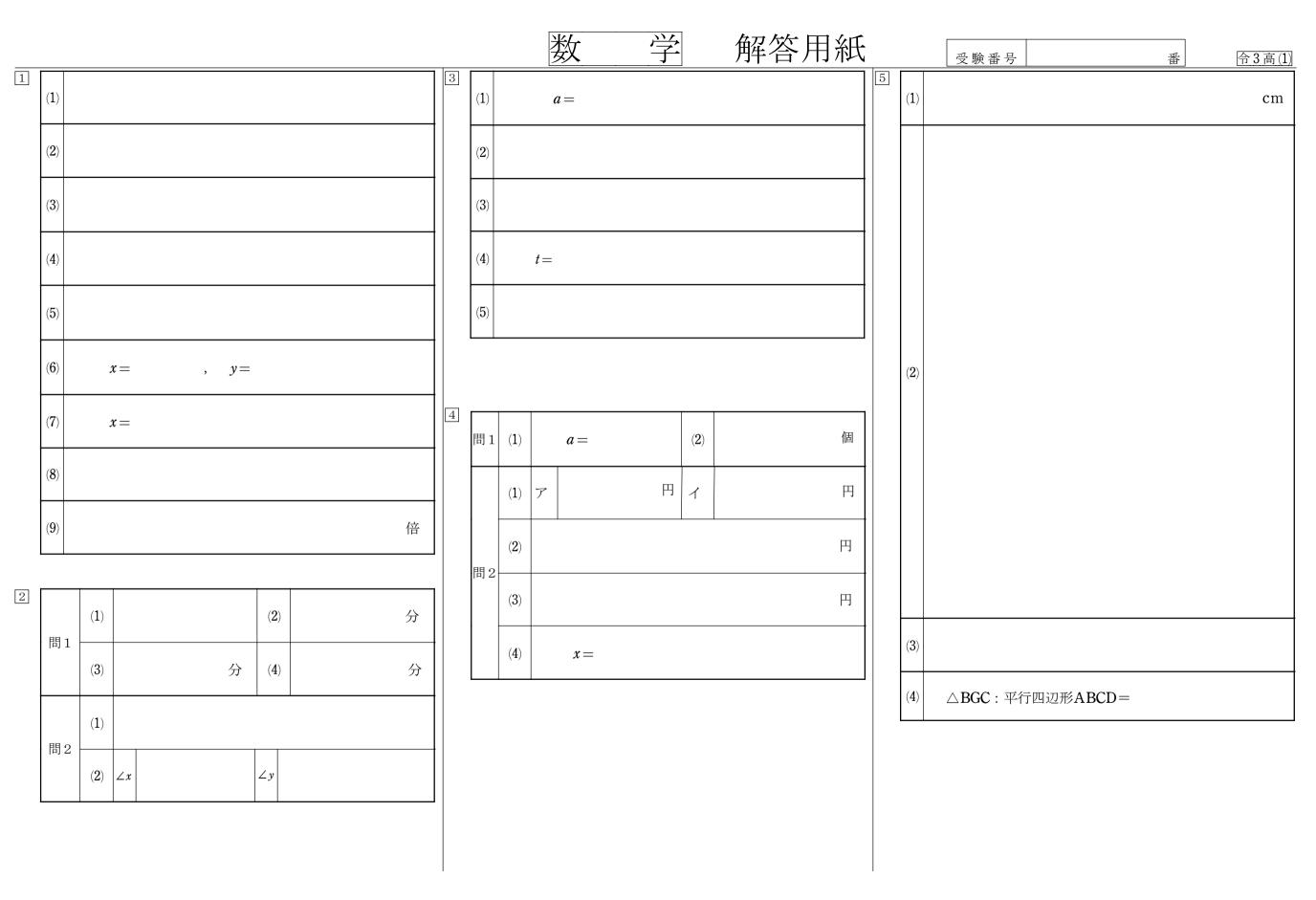
$$x^2 + ax - 54 = 0$$

- (1) 1つの解がx=-6 のとき, aの値を求めなさい。
- (2) 2つの解が整数となるようなaの値は、全部で何個か求めなさい。
- **間2** ある店が商品Aと商品 Bを販売している。商品Aは1個50円で販売し、商品Bは30個までは1個60円で販売し、30個をこえた分については1個40円で販売する。商品Bが売れた個数をx個とし、商品Aと商品Bが合わせて80個売れたとき、次の問いに答えなさい。
 - (1)(ア) x=20 のとき、商品A と商品Bの売り上げ金額の合計はいくらか求めなさい。
 - (イ) x=50 のとき、商品A と商品Bの売り上げ金額の合計はいくらか求めなさい。
 - (2) 商品Aの売り上げ金額をxの式で表しなさい。
 - (3) $x \le 30$ のとき、商品A と商品Bの売り上げ金額の合計をxの式で表しなさい。
 - (4) 商品A と商品Bの売り上げ金額の合計が 4270 円となる xの値をすべて求めなさい。

右の図のようなAB=8 cm, AD=10 cm の平行四辺形ABCD において,辺 ABの中点をE,辺 CD を2:3 に分ける点をFとする。また,線分BFと線分 CE の交点をGとする。このとき,次の問いに答えなさい。



- (1) 線分 CF の長さを求めなさい。
- (2) \triangle BGE $\ge \triangle$ FGC が相似であることを証明しなさい。
- (3) △BGEと△FGCの相似比を求めなさい。
- (4) △BCGの面積と平行四辺形 ABCDの面積の比を求めなさい。



(1) -28 (2) -18

(3) $-a^2-4a+4$

(4) 2(x+4)(x-2)

(5) 8√3

(6) x=5 , y=-1

(7) | x=0, -4

(8) -12

(9)

2

(1) 9 15 分 問1 (3) 25 分 **(4**) 22 分 540° (1) 問2 (2) $\angle y$ 36° 68° $| \angle x |$

倍

3	(1)	$a=\frac{1}{2}$
	(2)	y = -x + 4
	(3)	-1
	(4)	t=-3
	(5)	5

問1	(1)	a = -3		(2))	8	個	
	(1)	ア	4200	Р	1		4100	円
問 2	(2)		4000 — 5	50 <i>x</i>				円
FI] Z	(3)	10x + 4000						円
	(4)		x=27,	33				

			受験番号	番		令3高(1)		
5	(1)		<u>16</u> 5			cm		
		ΔI						
		対						
		∠I						
		AB//CDより平行な直線の錯角は等しいので						
			BEC= ∠FCC					
		①,)角がそれぞれ等しいので GE∽△FGC				
			$\triangle \mathbf{B} $	JE∞∆FGC				
	(2)							
	(2)							
	l							

5:4

△BGC: 平行四辺形ABCD=1:9